

ふらっぶ通信

第22号

社会福祉法人
なつな学園
サビエセンタ
ふらっぶ

アレルギーと多様性

滝沢 一人

突然ですが咳が止まりません。毎年この季節になると決まったように咳に悩まされます。季節がらインフルエンザの発症も散見している時期です。あらぬ疑いをかけられるのも年中行事になってきました。はじめはタバコによる気管支炎かと、頑張って禁煙してみたものの、どうやら違うようです。今のところの医療的見解は花粉・黄砂・今流行りの

≒2.5とやら等など何らかのいたずらで、喉の奥がアレルギー反応を起しているとの結論に至っています。花粉といえばスギ・ヒノキが有名です。京都には世界に誇る北山杉というブランド杉もあります。ある人が北山杉がきれいに背丈を揃えて植林されている景色を美しいでしょ？とヨーロッパ（ドイツだったかな）の方に自慢したところ、???こんな単調な林の景色が美しい???日本には白神に代表される素晴らしい森があるじゃない。あれこそ世界に

誇る日本の自然よ。みたいなないちやもんをつけられたそつです。この一件についてはこの方に、激しく身悶えしつつ同感する私です。

北山杉は確かに材としては素晴らしいし、そのことに異論はありませんが、自然の環境としてはいかなものかと常々思います。

私のように子供の頃、野山を駆け回りカブトやゲンジを追い掛け回した人間にとっては当然のことですが、杉に代表される針葉樹林と白神のブナに代表される広葉樹林では、その周りの生態系における多様性が全く違います。簡単に表現すれば前者は貧弱で、後者は豊潤です。

ブナやカシ、クヌギの周りにはこれらを食性とする多くの虫たちが集まり、その根には多くの雨水を溜め込み、やがて美しい源の流れを作ります。森に集まった虫たちを食性とした魚たちが、集まり清冽な水に踊ります。私の大好きなイワナ・アマゴ・アユ達の命を育みます。

人は環境の多様性を犠牲にし、用材化しやすい、効率的に育つ、簡単に言えばすぐにお金になった針葉樹を選択してきました。また、環境の多様性だけでなく地

盤の弱体化をまねき、昨今の洪水や土砂崩れといった災害を巻き起こしているのも、針葉樹林の仕業と言わざるを得ません。

我々が暮らす地域社会における多様性にも思いを馳せます。色んな人がいる社会の当り前さを思います。“みんなと違う”人を排除する方向ではなく、“みんな違う”大前提の中にその違いを認め合って暮らして行く社会は、広葉樹林の多様性が物語っているように、豊潤で面白おかしさに満ちた活性社会となるでしょう。

花粉と並ぶもう一つの敵、黄砂の原因は中国で猛威を振るう大規模な砂漠化の影響です。広葉樹がもたらす豊潤な自然が、砂漠化の一助になるのは言われて久しいことです。植物や人の多様性がこの星を救うはず。なんて大きな話をする前に、今日の外出にマスクをお忘れなく。

ふらっぶも九年目の新しい年度を迎えています。別れもありましたが、新しい出会いも頂いています。

新しい仲間と共に、少しでも皆さんの役に立てるようニーズに耳を傾けて“よく聴く”ことを意識し、頑張っていきます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

なづな学園 掲載！福祉施設発！かわいい雑貨

障害者福祉施設の利用者が作った雑貨を紹介する「福祉施設発！こんなにかわいい雑貨本」伊藤幸子、太田明日香編著(西日本出版社)が出版されました。

バッグやTシャツ、アクセサリといったファッション関連商品のほか、食器や文房具、おもちゃや小物類など、全国60カ所の施設で作られている約180点を紹介しています。同法人のなづな学園からは、「菊ざぶとん、鳥角皿、花の絵カード、ポピーの風呂敷」が掲載されました！

見ているだけで楽しくなるカタログブックですので、一度手にとってみてはどうでしょうか？



支援員研修報告

二月の三日間相談支援従事者現任研修にいたしました。一日目は、「障害者福祉の動向について」、施策の歴史、障害者総合支援法に関して、京都府は全国に先駆けて障がい者差別禁止条例を作っているところであるというお話も伺いました。他の二日間は、支援計画のロールプレイなどをしました。当事者主体・利用者中心の計画をといわれているが、当事者を主体に据えているだけのものならそれは支援者主体の計画というところになってしまいうので細かい配慮が必要だということなど、仮想事例をもとに繰り返し相談話し合いをしました。ご本人といろんな立場からその人に関わる人が集まり、計画を練る。一人の人生を相談員とはいえ一人で決めることなどできないことを改めて感じる事ができました。



福祉関係 NEWS



障害者総合支援法意思疎通支援を強化、14年度は程度区分見直し

障害者総合支援法が4月から施行されるのに伴い、厚生労働省は地方自治体に対し、難病の人がサービスの対象に加わることや、地域生活支援事業で意思疎通支援が強化されることを説明した。2月20日の全国厚生労働関係部局長会議と25日の障害保健福祉関係主管課長会議で、障害程度区分の見直しなど2014年施行分の検討課題なども示した。

引用：福祉新聞 平成25年3月4日号

1 報告

まずは、お久しぶりです！お腹大きくても動き回っていた片岡です。そんな私ですが、このたびは私の木学園に異動することになりました。長い休みだったのでも、みなさんに会えるのを楽しみにしていたのですが、とても残念です。なづな学園より異動してきたのが3年前。そのうちの1年10ヶ月と短い期間。たくさんご利用者さんとの出会い、それぞれの利用者さんとの思い出は私にとつて大切な宝物です。本当にありがとうございました！皆様にご挨拶が出来ず、残念です。次は、かしの木学園で頑張りたいと思います。そして、またふらっぶに戻ってくる日があります。その時はまたよろしくお願ひします。

(片岡優子)

この度、同法人のかしの木学園へ異動となりました。学生ヘルパーの期間を含めると、約3年間ふらっぶにお世話になりました。利用者さんからはたくさん笑顔を見ていただき、辛いときも乗り越えていくことができました。また、ヘルパーさん、ふらっぶ職員から支えていただきました。言葉で表すことができないくらい感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは、ふらっぶで学んだことをかしの木学園で生かして、頑張っていきたいと思っております。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

(喜多 奈穂美)



私、高岡は3月31日をもって退職することとなりました。学生の頃からお世話になりました。早いもので5年近くになりました。右も左も分かんなくなかった私を職員だけでなく、利用者さんやその家族さんから育てて頂いたと言っても過言ではありません。本当はお一人ずつ、顔を見てご挨拶をしたかったです。この場を借りての報告となり、申し訳なく感じています。

(高岡理恵)



皆さんこんにちは、丁です。突然ですが、この3月をもちまして、ふらっぶを辞める事になりました。大学時代から約2年半。長かったような、あつという間のような、複雑な心境です。たくさん学ばず、出来、福祉や仕事に対するやりがいを感じたり、楽しさを知る事が出来ました。利用者さんや家族さん、職員やヘルパーさんの笑顔が、いつも私を支えて、充実した時間を過ごさせてくれました。伝えても伝えきれない程の感謝の気持ちです。今後福祉の世界で頑張りたいと思います。本当に皆さんありがとうございました。

(丁春燁)



みなさん、今までありがとうございました！！
これからそれぞれの場所でもご活躍をお祈りしています。

新任職員のご挨拶

初めまして、柳原明花（やなぎはらさやか）と申します。

かしの木学園と一緒にお仕事をしていた方です。すでにご挨拶をさせてもらった方もいらっしゃるかと思います。同じ法人としましては、全然違う角度からみなさんと関わりをもちたいです。まだ始まったばかりで慣れないことだらけ。ご迷惑をおかけすることばかりかもしれません。少しだけでもお役に立てたらと思います。これからよろしくお願いたします。

（柳原明花）

これからよろしく
お願い致します！

この度サービセンタールームに松田健次と申します。

ふらっぶでは学生の時から約二年、登録ヘルパーとして活動させていた中で、中には私の顔を覚えてくださる方もいます。ふらっぶでの活動の際は積極的に爽やかな挨拶、行動を実行して参りたいと考えております。また様々な事柄や場面において関係者の皆様には何かとご不便をお掛けすることと思っております。なにとぞよろしくお願いたします。

（松田健次）



ご報告

ご報告が遅くなりましたが、昨年の11月20日に我が家に第一子となる男の子が誕生しました。

予定日より一週間早く生まれるという、親譲りのせっかちです。そのおかげで、なかなかの難産で出産後すぐに母親とは別の入院、親も経験したことのない検査をするという、経験豊富な日々を経て今は元気にあばれています。

私自身も家族も増え、よりしっかりしなければと思いつつ、毎日を奮起させていますが、まだまだ未熟なため皆様にはご迷惑ばかり掛けております。そんな私たちではございますが、
おめでとうございます!!!
今後は家族共々ご教授、ご鞭撻の程よろしくお願致します。（武野）

編集後記

早いもので4月ももうすぐ終わりですね。

4月だというのに私の地元山形では4月に入ってからまだ、雪が降っているようです。ですが、雪の下からふきのとうやつくしなどが少しずつ顔をのぞかせているようで、東北にももうすぐそこまで春がきています。

さて春といえば出会いと別れの季節。ふらっぶでも新しくふらっぶにいられた方・異動された方・退職された方・復帰された方がいて今年の春はたくさんのお会いと別れがありました。お別れはちょっとさみしいですが、新しいメンバーも増えてます。ふらっぶを今年度もよろしくお願致します！